

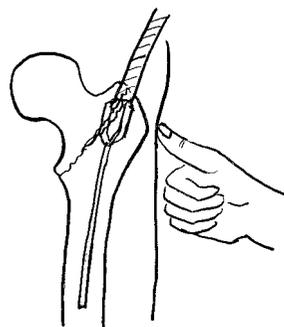
2001；20-8：1046-1051.

- 3) 岩田圭生ほか：大腿骨転子部・転子下骨折に対して行ったロングガンマネイルが折損した1例. 骨折2002；24：177-180.
- 4) 土肥有二ほか：Long gamma nail の折損をきたした1症例. 整形外科と災害外科2004；53：363-365.
- 5) 長野博志ほか：高齢者大腿骨転子部逆斜骨折に対する Proximal femoral nail small の治療成績. 骨折2002；24：138-141.
- 6) 荷田啓一郎ほか：大腿骨頸部外側骨折に対する proximal femoral nail を用いた治療成績. 骨折2003；25：142-144.
- 7) 林泰夫ほか：IMHS および Gamma nail 折損例の経験. 骨折1999；21：127-130.
- 8) 朴晃正ほか：大腿骨転子下骨折における proximal femoral nail の折損の1例. 骨折2004；26：596-598.
- 9) 松井俊明ほか：大腿骨頸部骨折に AO Proximal femoral nail を使用し骨幹部外側皮質骨骨折を生じた2症例. 東北整災誌2004；48：16-20.
- 10) 山田圭ほか：大腿骨転子部骨折に対して Proximal Femoral Nail を使用し回旋転位を生じた1例. 整形外科と災害外科2002；51：72-76.
- 11) 渡部裕一ほか：大腿骨転子部骨折に対する proximal femoral nail による骨接合術の治療成績. 骨折2003；25：145-148.

ほっと ぷらざ

転子部骨折整復位固定のためのひと工夫

γ-ネイル系の内固定金属を挿入する際、転子部の骨折線からネイルが入って骨折部が開いてしまう場合があります。リーミングの段階で骨折部が押し広げられると、ネイルを挿入する際にも骨折部が開きます。リーミングの際に、助手に大転子部を骨頭に向かって押ししてもらおうと、骨折部の離開を防ぐことができます。一度お試しください。



市立土別病院 整形外科 浜田 修